

市議会だより

編集 議会だより編集委員会
発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)

新 議 員
研 修 会

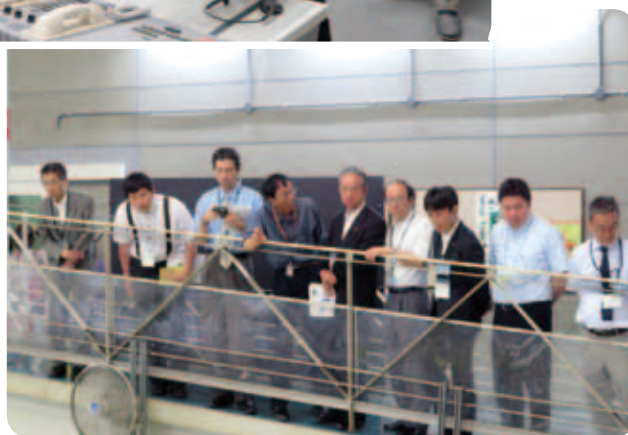


尾三消防本部消防指令センター



沓掛堆肥センター

平成27年5月22日と25日に新議員研修会を開催し、2日目は現地研修を実施しました。



愛知豊明花き地方卸売市場

平成27年 6月定例月議会

..... あんない

決まった主なことから	P2
議案等の審議結果	P3
討論(議案等に対する意見)	P4～P6
議員合同研修会	P7
議会改革推進協議会	P8

決まった主なこと

6 月定例会月議会は、平成 27 年 6 月 4 日から 6 月 29 日までの 26 日間にわたり開催し、議案 4 件、決議案 1 件、意見書案 1 件、陳情 6 件などを審議しました。

人事案件

◎農業委員会の委員の推薦

議会推薦の農業委員 2 名が
辞任したため、後任に次の
2 名の議員を推薦すること
に決まりました。

後藤 学
毛 受 明 宏

陳情

◎議会の活性化に関する陳情

平成 27 年 6 月 29 日
採 択

◎視察旅行の報告書及び経費
の公開を求める陳情

平成 27 年 6 月 29 日
採 択

◎委員会の一般傍聴者数上限
引き上げを求める陳情

平成 27 年 6 月 29 日
採 択

◎議会及び各委員会の放映の
さらなる拡充を求める陳情

平成 27 年 6 月 29 日
趣 旨 採 択

◎定例議会に於ける一般質問
方法の改善を求める陳情

平成 27 年 6 月 29 日
採 択

◎定例議会に於ける一般質問
実施日のうち 1 日を休日
（土曜日・日曜日・祭日）
に開催を求める陳情

平成 27 年 6 月 29 日
採 択

議員派遣

平成 27 年 6 月定例会月議会で、
次の件が議決されました。

◎議員派遣の件

平成 27 年 6 月 4 日

豊明市議会会議規則第 16
6 条の規定により、次のと
おり議員を派遣する。

友好自治体議員合同研修会

(1)派遣目的

住民交流の促進に係る行政
施策の実情調査及び議員意
見交換

(2)派遣場所

長野県木曾郡上松町

(3)派遣期間

平成 27 年 7 月 7 日から 7 月
8 日（2 日間）

(4)派遣議員

議会運営委員会において決
定する 10 名以内の議員

意見書（一部省略）

◎マイナンバー制度の実施に
は慎重に対応することを求
める意見書

わが国でも、日本年金機構
の 101 万件に及ぶ情報流出
が起きたばかりであり、それ
は個人情報管理に対する国民
の不安、とりわけマイナンバ
ー制度の安全性に対する大き
な不安となっている。
こうしたなかで、マイナン
バー制度を導入することに国
民の理解を得ることは難しい
と考えられる。

よって、当市議会は国に対
し、マイナンバー制度の実施
には十分に時間をかけ、慎重
に対応することを求める。

意見書提出先

内閣総理大臣 他 3 大臣

議会議案用語

◆附帯決議◆

議案を議決するにあたって
の執行上の要望で、法的拘束
力はありませんが、尊重され
るべきものとされています。

提出された議案

議 案 番 号	件 名	議決状況	賛 成
議案 42	工事請負契約の変更（国庫補助事業道路築造工事）	6・29 可決	19
議案 43	豊明市国民健康保険条例の一部改正	6・29 可決	19
議案 44	平成 27 年度豊明市一般会計補正予算（第 1 号）	6・29 可決	19
議案 45	豊明市小規模企業振興基本条例の制定	6・29 可決	19
報告 9	平成 26 年度豊明市土地開発公社決算並びに平成 27 年度豊明市土地開発公社事業計画及び予算の報告	6・4 報告	19
推薦 1	農業委員会の委員となるべき者の推薦	6・4 推薦	17
決議案 1	議案第 45 号 豊明市小規模企業振興基本条例の制定に対する附帯決議	6・29 否決	9
意見書案 2	マイナンバー制度の実施には慎重に対応することを求める意見書	6・29 可決	19
陳情 1	議会の活性化に関する陳情	6・29 採択	19
陳情 2	視察旅行の報告書及び経費の公開を求める陳情	6・29 採択	19
陳情 3	委員会の一般傍聴者数上限引き上げを求める陳情	6・29 採択	19
陳情 4	議会及び各委員会の放映のさらなる拡充を求める陳情	6・29 趣旨	17
陳情 5	定例議会に於ける一般質問方法の改善を求める陳情	6・29 採択	10
陳情 6	定例議会に於ける一般質問実施日のうち 1 日を休日（土曜日・日曜日・祭日）に開催を求める陳情	6・29 採択	10
*	陳情 7 号 豊明市市議会議員定数削減を求める陳情	6・16 許可	19

委員間討議

議会運営委員会で委員間討議
を試行しました。

議会では、市長から提案され
た議案は、所管の委員会に
付託し、各委員会はその議案
を詳細に審査し、その内容・
結果を本会議場にて委員長が
報告します。（本会議場で報
告した後、全議員で委員長報
告に対する質疑↓討論↓採決
を経て、結論に至ります。）

従来、所属委員は委員会審
査中に他の委員と議論を交わ
す方法はなく、委員一人一人
が討論で考えを表明していま
した。委員はそれぞれの会派
内で議論をして臨みますが、
一人会派の場合や、会派によ
っても論点が異なる場合があ
ります。

議論を尽くした上で合意形
成を図ることを目的とする議
会基本条例に基づき、委員間
での討議を試みることになり
ました。

試行は、議会運営委員会に
付託した陳情の審査で行われ、
通常どおりの質疑の後、委員

間討議のための論点を挙げ、
討議することとしましたが、
論点を挙げる時点で意見を述
べる場面になることも多くあ
りました。委員の多様な意見
で討議することが目的ですが、
論点の設定も簡単なことでな
く、委員の討議能力も不可欠
であります。

今後、委員間討議の実施に
向けて、議会改革推進協議会
で方法などを協議していきま
す。



議案等の審議結果

（全会一致でない議案等の賛否）

議案等番号	会 派 名	新風とよあけ					ひまわり					公明党 市議団	市政改 革の会	緑の風		一						
	議 員 名 件 名	清 水 義 昭	富 永 秀 一	後 藤 学	宮 本 英 彦	ふ じ え 真 理 子	近 藤 善 人	杉 浦 光 男	鶴 飼 貞 雄	毛 受 明 宏	近 藤 郁 子	三 浦 桂 司	月 岡 修 一	近 藤 千 鶴	一 色 美 智 子	早 川 直 彦	山 盛 さ ち え	近 藤 裕 英	蟹 井 智 行	郷 右 近 修	村 山 金 敏	
決議案 1	議案第45号 豊明市小規模企業振興基本条例の制定に対する附帯決議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	議 長	×	×	○	○	×	×	×	×	
陳情 4	議会及び各委員会の放映のさらなる拡充を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	○
陳情 5	定例議会に於ける一般質問方法の改善を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×		×	×	×	○	○	×	×	○	×
陳情 6	定例議会に於ける一般質問実施日のうち1日を休日(土曜日・日曜日・祭日)に開催を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×		×	×	×	○	○	×	×	○	×

※ 陳情 4 は趣旨採択について採決した結果であり、× の議員は採択又は不採択の意思表示はしていません。
※ 陳情 5、6 は採択について採決した結果であり、× の議員は趣旨採択又は不採択の意思表示はしていません。



議案等に対する

討

論

（議会の最終日に各会派等の意見を代表して賛成・反対討論を行いました。）

◆新風とよあけ◆

平成27年度豊明市一般会計補正予算（第1号）に賛成

一般会計補正予算7億6296万円は政策的な事業に関する予算として上程されたが、国の特別交付税を除くと約8割の3億円程度が公共施設の修繕・改修、河川・公園・調整池の整備などの工事関係予算である。豊根村の野外教育センター建設中止の決断、病後児保育施設の新設などわずかな予算範囲の中での新たな政策は評価する。

しかし、8割を占める工事関係予算に対する切り込みが弱いと判断する。特に図書館エレベーター改修費3000万円は明らかに高額である。文科省・国交省からも留意事項が出されており予算執行段階での厳しい査定を強く要請する。消防庁舎の雨漏り防水工事の件、改修には手順がかかるため今日に至ったとのこと。手順を優先する思考は全く

理解できない。

次に、二村台保育園の駐車場と唐竹公園の駐車場整備の件、隣同士の駐車場を整備拡張するのならなぜ一体にしないのか。一体になれば市民の皆さんへの利便性がさらに向上するのは誰が見ても明らかである。当局には「利用者の利便性を向上させよう」という意識が薄いと判断せざるを得ない。最後に第5次総合計画絡みの予算が計上されている。第4次総合計画では人口7万2000人の目標が現状は減少している。第4次総合計画未達成の総括を行なった上で、第5次総合計画のスタートを切るというプロセスを踏まなければ「人口増加」も絵に描いた餅になりかねないと危惧する。

◆公明党市議団◆

平成27年度豊明市一般会計補正予算（第1号）に賛成する

今回の補正予算はかつてない大きな規模となりました。これは「骨格予算」である当初予算に「肉づけ予算」として追加するもので、この予算から新しい豊明市が丸となってスタートを切るものと理解します。

者の目線できめ細かな準備に心がけていただくように、また藤田保健衛生大学病院への公的病院としての運営助成については、国の制度を活用しての実行を判断されたことに敬意を表します。教育については、学習のスタイルを自発、自立の導き、誘導に徹していく協同の学びに移行する取り組みを始められます。また、学校の外に活動領域を広げるスクールソーシャルワーカーの配置に着手するなど今後の充実に期待をします。

ふるさと納税には特に「とよあけらしさ」を追求して積極的に進めていただきたい。

市長みずから様々調整を重ね決断をされ、野外教育センターの建設計画を見直すことになりました。苦渋の選択です。豊根村との交流には温泉施設の利用促進を計上しています。今後多世代での市民の交流促進を一層活発に展開できるように、私も議員も積極的に関わっていきます。

長く要望を重ねてきた病後児保育施設の開設にいい着手となります。利用

住民の福祉の向上、安全で安心な魅力あるまちづくりを目指した補正予算について賛成します。

◆ひまわり◆

豊根村との交流を続けるよう要望して賛成とする

今回の補正予算は、従来の施設の維持管理に多額の費用が生じており、長寿化対策などに工夫を凝らし、扶助費の増大に対応するようしていただきたい。将来的に施設を統廃合しなければならぬのは理解できるが、市民から広く意見を聞き、判断するように要望する。

スクールソーシャルワーカーの人材確保には苦慮すると思うが、悲惨な事件等が発生してからでは、遅きに失する。今回は1名の配置だが、今後は、増員も視野に入れていただきたい。

来年から始まるマイナナンバー制度に市民は、情報漏れなどに敏感になっている。個人情報部が外部に漏れないよう強化をお願いする。

公的病院運営補助の約3億9000万円は、国の補助金。がそのまま藤田保健衛

生大学病院に交付される。病院との提携で、緊急時に市民が、たらい回しにされずに対応していただけるのは、大変心強いものがある。今後も、県や国と連携してパイプを強化して不足している財源確保に努めていただきたい。

消防本庁舎の雨漏りは、ここまでひどいとは思わなかった。どの施設においても、必要な修繕は迅速に対応していただきたい。

豊根村の野外教育センター建設中止の政治判断はやむを得ないが、今後も、市民レベルの交流が途絶えないように、また38年間続いている友好自治体の関係を壊さないよう最大限の配慮を要望して、賛成とする。

◆市政改革の会◆

一般会計補正予算に賛成

補正額は7億6200万円と多額ではあるが、特別な事業を除くと3億5700万円、ほぼ市債（借金）1億1600万円と基金（預金）2億3500万円の取り崩しで賄われている。本年度の基金取り崩し総額は7億3500万円に達し、近年にない額。ここから見えるのは、公共施設の老朽化対策もマニフェスト事業も基金頼みの現状。

中身は学校の耐震工事や公共施設の老朽化等に伴う事業費が9割、新規事業は、野外教育センター建設中止と、それに伴うパル豊根の温泉使用料無料化、協同の学び推進事業にとどまった。

所信表明で「少子超高齢化による税収減少、公共施設老朽化に伴う維持管理への多額出費で、新たな市民サービス予算を捻出するのは困難」と述べた切実さが

にじみ出ている。

しかし、こうした状況にあって積算の甘さ、縦割りの弊害、危機感の弱さがかがえる。これではいつになったら市長マニフェストに着手できるか心配する。

前市長が4年間で基金を20億円積み増し、29億円までふやしましたが、この調子で使えば底をつくことは目に見えている。年度内にどれだけ積み戻しできるかが勝負といえよう。予算はあくまでの支出見込み額なのだから、執行段階で節約と無駄排除を徹底されるよう強く要望する。

最後に、豊根村野外教育センターの建設中止は、不登校対策や学力向上のためと答弁された。約束どおり、浮いた3億円超は教育予算に使うよう求める。

◆緑の風◆

平成27年度一般会計補正予算に賛成

一般会計補正予算について賛成の立場で討論をします。

「スクールソーシャルワーカー報酬」については、ぜひ適切な人を配置していただきたいと思います。中央小学校は、現在818人の児童がいます。精神的に不安定になる児童も多く、中央小学校の先生方はその対応に毎日大変多くの時間を費やしています。中央小学校にこそ早急にスクールソーシャルワーカーを置くべきだと考えています。

「各小学校管繕工事費」の中に、中央小学校の北棟増圧給水管工事が含まれています。この工事によって北棟屋上の高架水槽から直で北棟1階と2階の水道は結ばれますので、赤水の心配はなくなります。しかし、この高架水槽の水を使用しているのは、北棟

だけではなく中棟も利用しているので、引き続き工事をお願いしたいと思います。

「各中学校管繕工事費」の中には、沓掛中学校の正門から校舎までの舗装本復旧工事が入っています。アスファルトがきれいになるということ、喜んでいますが、他にも中庭の問題やカラムシの問題等があります。ぜひ対策を考えていただきたいと思います。

豊根村の野外教育施設に絡んで浮いた事業費の扱いが問題になりました。小中学校の教室へのクーラー設置と体育館への大型ストロボを設置する費用に当てていただきたいと思っています。有効な予算執行を心がけてください。

◆日本共産党◆

平成27年度一般会計補正予算について賛成

平成27年度一般会計補正予算について賛成の立場ですが、各事業について討論します。

児童館の指定管理化の推進に14万円が計上されています。指定管理者制度が進むと市が直接責任を負わなくなり、子どもの様子をつ

かめなくなるのではないのでしょうか。今後子どもが安心できる居場所をつくることを求めます。

マイナンバー制度導入の費用が計上されています。この事業は一方的な税の取り立て強化と、国が国民を監視することにつながるの

ではないかと考え反対してきました。日本年金機構への不正アクセスによって個人情報情報が漏えいし、国民の間に不信が大きく広がっています。市長がマイナンバー制度の実施を中止するよう国に働きかけるべきではないでしょうか。市民の願いに応えた前進面は病後児保育施設の整備です。安心して子育てができる事業だと思っています。今後も市民の暮らしを守る事業を求めて賛成の討論といたします。

◆創生◆

議案第45号豊明市小規模企業振興条例の制定について賛成

県内の中小企業のうち、約82%が小規模企業であります。また、当市においてもほとんどの企業が小規模企業であります。長年にわたり「小規模企業に光を当ててほしい」との要望がありました。今回の小規模企業振興条例の制定について

は賛成するものであります。しかしながら、この条例については、まだ甘いところが見受けられます。建設消防委員会の質疑で「内容については今後も見直していく」とのことでありました。したがって、早期に

条例や規則などを修正、整備されることを要望して討論といたします。



あげまつまち

上松町を訪れる 今後の自治体交流に期待

豊明市議会と友好自治体の上松町議会（長野県木曽郡）は7月7・8日、同町ひのきの里総合文化センターで、第10回議員合同研修会を実施しました。

マイクロバスで約2時間半。本市からは半数の議員10人が参加しました。同町は日本三大美林の一つ、木曽ヒノキが有名。町の総面積94%（うち69%が国有林）が森林で人口は約4800人です。

《笑顔の集まる公民館に》
公民館施設の見学へ。体育館、図書室、会議室、調理室、



公民館玄関横に掲げられている看板

工作室、フィットネスルーム、喫茶コーナー、作品展示コーナーなどの複合施設となっています。築



活発に行われた意見交換会

40年以上が経過し、平成25年度に大規模改修工事（総事業費約4億3000万円）が完了したばかりです。施設内はヒノキの香りが漂い、バリアフリー化や災害時の避難場所としての機能向上など、事前にワークショップを重ねて住民の意向が反映されています。学校帰りの小学生やサークル活動など高齢者の姿も見られ、誰もが笑顔で気軽に立ち寄れる交流拠点となっています。

《活発な意見交換会》

上松駅前にあるひのきの里総合文化センターへ場所を移し、両市町の首長も参加して意見交換会を行いました。田上正男町長は「上松の自然の素晴らしさは大きな宝。これを生かしながら後世に引き継いでいくため、多くの人が町を訪れて良さを知ってほしい」と挨拶。お互いのまちの現状について理解を深め、少子化・人口減少問題、特に若者の流出、ふるさと納税、農業後継者不足、木材利用促進などさまざまな課題について活発に意見を交わしました。

また、同町出身の十両力士御嶽海（みたけうみ）も話題となり、町を挙げて応援しています。



御神木の跡地でガイドから説明を受ける



高品質で耐久性に優れたヒノキについて説明を受ける

《森づくりから学ぶ》

2日目は、森林浴発祥の地『赤沢自然休養林』（728ha）へ。平均樹齢300年以上のヒノキ天然林をガイド付きで散策し、森林セラピーを体験。途中、伊勢神宮式年遷宮で用いられた御神木跡地の株を見学、100年単位で森づくりを考える人々の思いを強く感じました。

私たちの生活に欠かせない水。その水源にあたる木曽地域の森を守ることが、私たちの生活を守ることにつながります。

《仕事への誇りと使命感》

伊勢神宮式年遷宮の御用材、社寺建築用材や仏像、能面、



町を挙げて応援する郷土出身力士「御嶽海」

手作り家具・木工品などを取り扱う木材会社の工場見学へ。社長から天然乾燥、在庫の豊富さ、木によって異なる適材適所の使い分けなどの説明を受け「木を生かす」仕事への誇りと使命感も伝わってきました。

《大事にしたい『縁』》

本市は同町と平成14年から友好自治体提携を結んでいます。祭りや文化スポーツ交流でこれまでも同町を訪れた市民の多くは「上松町は人が温かく、空気がいい」と言います。

行政が抱える課題は両市町共通のものも多い。私たちが恩恵を受けている水源の森を守り育ててくださっている町民の皆さん。このご縁を大事に、友好自治体としてお互いの課題解決につなげていく関係づくりを議会としても後押ししていきたい。

議会改革推進協議会 を設置しました

住民自治の時代といわれる今日、社会的状況は少子高齢化と人口減少、また豊明市においてはアセットマネジメント（公共施設の更新問題）があり、財政的な課題が重くのしかかってきています。

議会は二元代表制のもと、行政への監視機能、立法機能、政策立案及び提言等の機能を有しています。そのために、市民により信頼され開かれた豊明市議会を目指し、議会改革に関して協議、検討するために豊明市議会改革推進協議会を6月22日に設置しました。

豊明市には平成24年4月より施行の豊明市議会基本条例があります。出発点はこれら従来に学びつつも今までの議会のあり方を具体的に評価、反省し課題を見つけ協議、検討する。そして豊明市にふさわしいあり方を得て、実行できるものは実行に移していくことにしました。

第1回協議会の内容。



- 1 協議会の進め方
 - ・ 月1回以上協議会を開催
 - ・ 議員による会議録作成
 - ・ 構成は議員全員
 - ・ 傍聴は可（人数制限なし）
 - 2 協議内容
 - ・ 議会運営に関する申し合わせ事項について
 - ・ 議会基本条例、会議規則、委員会条例について
 - ・ 政務活動費について
 - ・ 議員定数について
 - ・ 議員報酬について
 - 3 9月定例会議会に間に合わせるために優先的に協議する項目
 - ・ 委員間討議試行
 - ・ 委員会の傍聴人数
 - ・ 決算特別委員会の人数
- をもち、改革課題の解決に向けて全力で取り組みます。

議会 会 日 誌

4月	15日	東海市議会議長会定期総会（四日市市）
	26日	豊明市議会議員選挙
	28日	豊明市議会議員当選証書付与式
5月	8日	会派代表者打合せ会
	12日	会派会議
	15日	開会議会
	20日	議会運営委員会
6月	22日	全員協議会
		会派会議
	25日	正副委員長会
	26日	新議員研修会
7月	29日	新議員研修会
		愛知中部水道企業団
	14日	議会臨時会
	15日	東部知多衛生組合議会臨時会
8月	3日	愛知県競馬組合議会臨時会
	4日	6月定例会議会
	4日	会派会議
9月	15日	正副委員長会
		議会運営委員会
	17日	全国市議会議長会定期総会（東京都）
	18日	会派会議
10月	22日	豊明市議会改革推進協議会
	26日	会派会議
	29日	議会運営委員会
		全員協議会
11月	1日	正副委員長会
	2日	会派会議
	7日	在都市議会協議会定期総会（福島市）
	8日	友好自治体議員合同研修会（上松町）
12月	14日	議会だより編集委員会
		豊明市議会改革推進協議会

※一般質問（個人質問）は、9月1日号に掲載を予定しています。

… 9月定例会議会の開催日程（予定） …

8月26日（水）	本会議（議案上程・提案説明）	9月 7日（月）	・ 8日（火）	決算特別委員会
8月31日（月）	本会議（一般質問）	9月10日（木）		総務委員会
9月 1日（火）	本会議（一般質問）	9月11日（金）		福祉文教委員会
9月 2日（水）	本会議（一般質問）	9月14日（月）		建設消防委員会
9月 4日（金）	本会議（議案質疑・委員会付託）	9月25日（金）		本会議（委員長報告・討論・採決）

※本会議・委員会とも午前10時より開かれます。 上記は予定のため、変更される場合がありますので、ご了承ください。
 ※なお、庁舎の耐震工事に伴い、9月定例会議会より議場が第1委員会室に変更となります。
 お越しの際は東館のエレベーターをお使いください。
 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 0562-92-1121